

くすわかば



令和4年度学校だより 第7号
令和4年7月11日発行
熊本市立中緑小学校
校長 林田 匡

5年生「水俣に学ぶ肥後っ子教室」

6月28日(火)、天明中学校区4校連合で「水俣に学ぶ肥後っ子教室」に参加しました。これは、水俣病について学び、差別や偏見を許さない心情と態度を育成するとともに環境について学び、環境保全活動への実践意欲や態度を育成することを目的として熊本県内の小学5年生が必ず取り組んでいます。コロナ禍の中、ここ2年はオンラインでの学習でしたが、今回は現地に行って学習を進めることができました。



午前中は、熊本県環境センターでの環境学習、国立水俣病情報センターや水俣市立水俣病資料館を見学しました。昼食後、語り部の方の講話をお聞きしました。今回、現地で学んだことを様々な場面で活かして行ってほしいと思います。

今回は、天明中学校区4校での学習となり、他の学校の子どもたちとも顔見知りになったり仲よくなったりしていたようでした。帰り際には、「(11月末実施予定の) 集団宿泊教室でまた会おうね!」と声をかけられていたようでした。今回の行事が交流の第一歩にもなったようです。

授業参観、学級懇談会お世話になりました

7月8日(金)は、今年度になって初めての授業参観、懇談会となりました。平日にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。

今年度は、3・4年生と5・6年生が複式学級となり、学年をまたいでの授業が難しい面もありますが、各学級、それぞれに工夫を凝らして授業を行っていました。少人数のよさを活かしながら、子どもたちが「学び取る」授業づくりをめざしてどのように対話(アウトプット)を行っていくか、ICT機器の効果的な活用を行っていくか等について、今後学校でも研修を深めてまいりたいと思います。なお、今回は、今年度の第1回学校評議員会も併せて開催しました。学校評議員会とは、地域に開かれた学校づくりを推進するために、保護者や地域住民等の代表から学校運営に関する意見を述べていただき、学校運営に活かす取り組みです。今年度は学校評議員として、保護者代表(P

TA会長、副会長)、地域住民代表4名の合計6名の皆様にお世話になっています。今回いただいた意見を参考に、学校運営を進めてまいりたいと思います。

【写真は、各学級の授業参観の様子です】



1年生



2年生



みどり学級



5・6年生



3・4年生